

# 平成31年度 予算の概要

市は、第4次長期総合計画で掲げているまちの将来像「にぎわいとやすらぎの交流都市立川」の実現に向け、5つの政策（「子ども・学び・文化」「環境・安全」「都市基盤・産業」「福祉・保健」「行政経営・コミュニティ」）における重点取組施策を中心に予算を編成しました。平成31年度一般会計の予算は前年度に比べて13億3,800万円増加し、754億9,300万円となりました。くわしい資料は、市政情報コーナー（市役所3階）や市ホームページでご覧になれます。

☎財政課・内線2676

平成31年度の一般会計と特別会計の総額は、1,450億3,683万円で、前年度に比べて147億1,951万円増加しました（右表）。

市の予算は一般会計と特別会計で構成されています。一般会計は、福祉や教育、防災、道路の整備など、市の基本的な仕事を行うための会計で、主な収入源は市税や国・都からの補助金です（下グラフ）。特別会計は、特定の収入を特定の支出に充てて経理する必要のある事業について、収支を明確にするために一般会計とは区別して設けられている会計です。

各数値は四捨五入しているため合計値と内訳が一致しない場合があります。

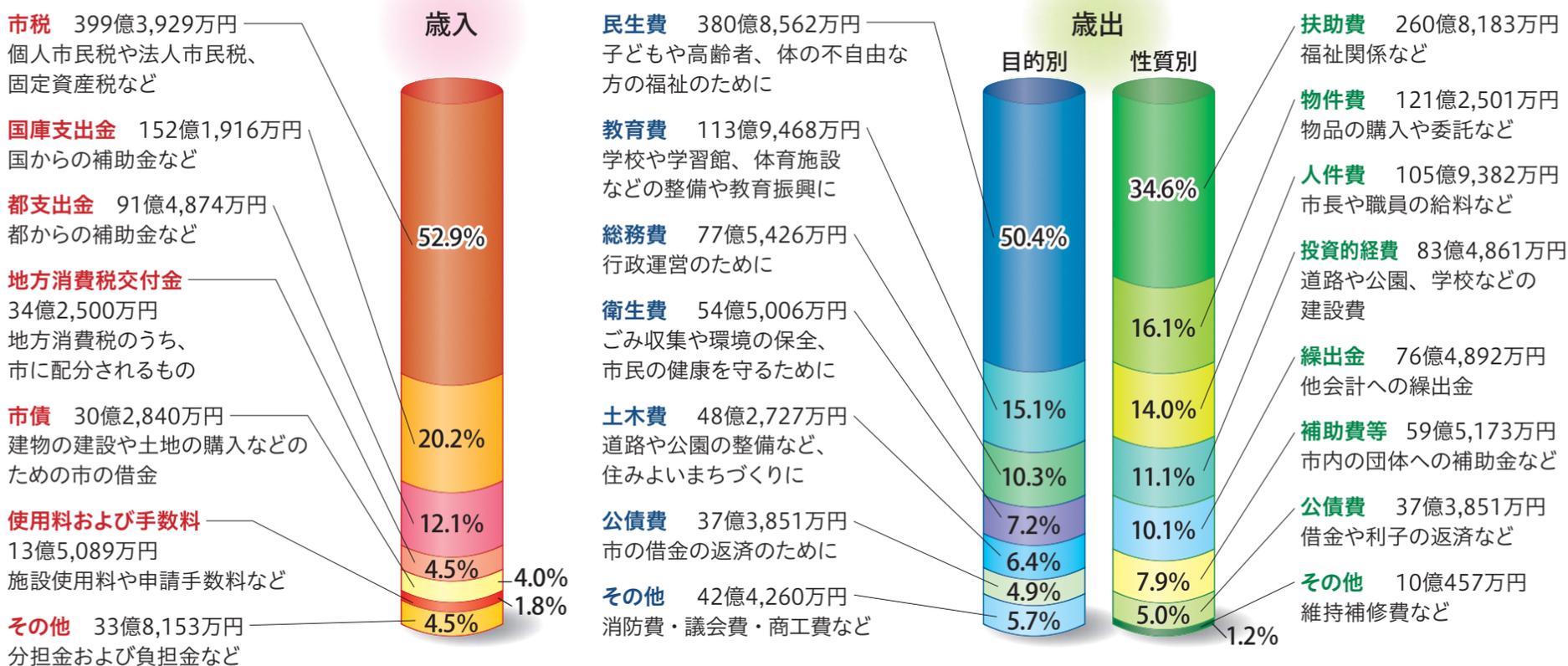
|           | 予算額(万円)     | 前年度比(%) |
|-----------|-------------|---------|
| 一般会計      | 754億9,300   | + 1.8   |
| 特別会計      | 695億4,383   | + 23.8  |
| 競輪事業      | 277億5,003   | + 70.4  |
| 国民健康保険事業  | 165億5,553   | △ 1.8   |
| 下水道事業     | 71億3,839    | + 22.0  |
| 駐車場事業     | 8,878       | △ 36.6  |
| 介護保険事業    | 140億4,140   | + 6.6   |
| 後期高齢者医療事業 | 39億6,970    | + 2.9   |
| 合計        | 1,450億3,683 | + 11.3  |

## 行財政改革を進めています

市は、行財政改革に取り組んでいます。平成31年度は電力供給の見直しやネーミングライツ、広告料収入により約2億1,300万円の財源を確保しました。

☎行政経営課・内線2703

## 一般会計754億9,300万円の内訳



### 1 子ども・学び・文化

- 学童保育所の開設などによる待機児童対策
- 医療的ケア児支援関係者会議の実施
- 幼稚園教育振興事業
- 学力向上に向けた取り組み（地域未来塾、スタディ・アシスト事業、外国語指導助手の拡充）
- 新学校給食共同調理場整備運営事業
- 地域学校連携事業（小・中学校全校へのコミュニティ・スクールの導入）
- 小学校統合建替事業（若葉台小学校新校舎の建設）
- 姉妹市提携60周年記念事業

## 5つの 政策における 重点取組施策

（主なものを掲載）

### 5 行政経営・コミュニティ

- 自治会等への新規支援策の実施
- プロモーションブックの作成
- 公共施設再編の市民検討の開始
- 市立保育園の民営化（柴崎保育園の民営化に向けた取り組み）

### 2 環境・安全

- 新清掃工場整備運営事業
- 避難所機能の整備（LED投光機の配備）
- 街路灯・園内灯LED化事業
- 立川駅北口デッキ（都市軸）エスカレーター設置

### 3 都市基盤・産業

- 武蔵砂川駅周辺地区道路整備（駅前広場の整備工事、市道2級25号線の用地買収など）
- 立川駅周辺の交通案内サイン等の整備
- 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた取り組み（ベラルーシ共和国新体操ナショナルチームの事前キャンプ実施など）

### 4 福祉・保健

- 看取り支援事業の実施
- あんしん見守り機器設置費助成の開始
- 障害者（児）への日常生活用具助成の充実、移動支援費の利用範囲の拡充
- 在宅人工呼吸器使用者の停電時の安全を確保する自家発電装置費等助成の開始